

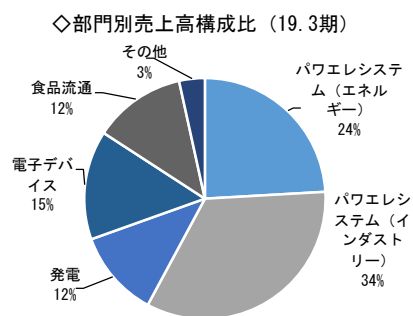
企業ニュース 富士電機

(東証1部：6504) <https://www.fujielectric.co.jp/>

作成者：奥村義弘

パワエリシステムやパワー半導体に強み

1923年創業。創業以来培ってきたエネルギー・環境技術をコアに事業を展開する。当社が得意とするキーデバイスの一つパワー半導体とは交流を直流にしたり、また直流を交流にしたり、電圧を昇降圧したりする電気エネルギーの制御や供給を行う半導体。モータの回転を制御するインバータやスイッチング電源などに使用され、省エネルギー化を図ることができる。当社はこのパワー半導体やセンサといったキーデバイスを活用した計測機器や制御機器、器具などのコンポーネントにIoT・制御技術などを組み合わせ、電力の制御や社会インフラ・産業分野の安全操業を支える様々なシステムソリューションを提供している。19年度から23年度までの中計ではパワエリシステムやパワー半導体への重点投資を行い、23年度には売上高1兆円、営業利益率8%以上を目標としている。



(出所) 富士電機資料よりCAM作成

短期的な業績は厳しいが、中長期でのビジネス拡大期待は大きい

20.3期・第1四半期(4-6月)の連結業績は、売上高が1,760億円、前年同期比10%減、営業利益が36億円、同43%減。会社計画比で売上高が100億円、営業利益が10億円の未達。中国市場の投資抑制で低圧インバータ、FAコンポーネントや半導体、自販機などで下振れした。

20.3期の会社計画は売上高が9,300億円、前期比2%増、営業利益が620億円、同3%増。上期の計画は売上高を60億円、営業利益を30億円減額修正したが、通期計画は期初計画を据え置いた。パワエリシステムエネルギー、パワエリシステムインダストリー、電子デバイスでの上期減額分を固定費抑制などでカバーする計画。インバータ、サーボ、産業分野向け半導体など主要コンポーネントは調整局面だが、工場や鉄鋼・化学プラント向けのシステム更新需要は旺盛である。また船舶用排ガス浄化装置(SOxスクラバ)の受注は順調である模様。パワー半導体は海外の風力・太陽光など再生エネルギー分野は堅調、自動車向けでは新規顧客向けの納入開始もあり回復に向かう見通しである。

[株価動向・投資判断]

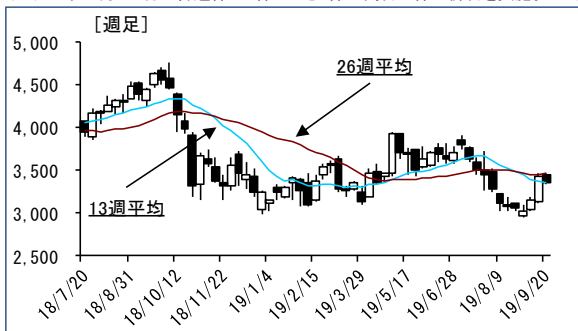
パワー半導体を中心に増産投資を進めている。車載関連の研究開発にも力を入れており、中長期でのビジネス拡大期待が大きい。

<6504 富士電機 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は日経予想]

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期利益 | 1株利益 | 1株配当 |
|--------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------|-------|
| | 百万円 (伸び率) | 百万円 (伸び率) | 百万円 (伸び率) | 百万円 (伸び率) | 円 | 円 |
| 18.3 | 893,451 (7) | 55,962 (25) | 56,047 (21) | 37,763 (▲8) | 52.9 | 14.00 |
| 19.3 | 914,915 (2) | 59,972 (7) | 63,479 (13) | 40,267 (7) | 281.9 | 48.00 |
| 20.3 予 | 930,000 (2) | 62,000 (3) | 63,600 (0) | 40,400 (0) | 282.8 | 80.00 |

(注) 18年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施。19.3期の1株配当は第2四半期末の8.00円と期末の40.00円の単純合計



| [主要株価指標] (売買単位：100株) | |
|----------------------|-------------------|
| 株価 (2019/9/20) | 3,350 円 |
| 年初来高値 (高値日) | 3,950 円 (19/4/26) |
| 同 安値 (安値日) | 2,944 円 (19/8/26) |
| 予想 P E R (20.3 予) | 11.8 倍 |
| 1株株主資本 (PBR算出用) | 2,418.2 円 |
| P B R | 1.39 倍 |
| 予想配当利回り | 2.39 % |
| (1株当たり配当金年80.00円) | |
| R O E (19.3) | 11.8 % |
| 発行済み株式数 | 14,930 万株 |